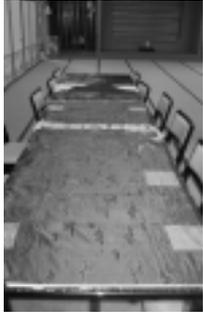


はじめに

佐井村のみなさんこんにちは。私たちは大間高校二年浜辺滉希と濱端祥輝といいます。私たち二人は、八月二十七日(水)から二十九日(金)にかけて職業体験実習で佐井村役場に訪問させていただきました。私たちは出身が風間浦村と大間町のため、佐井村をまったく知らない状態での訪問となりました。なので、佐井村のみなさんが毎日見ている佐井村とは違う、私たちから見た新鮮な佐井村をお届けできればいいと思います。

佐井歩き

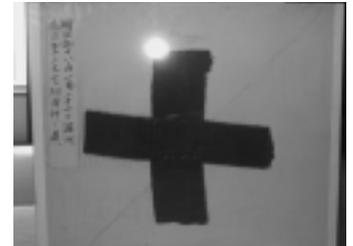
まち歩きの中で法性寺という寺に寄ってきました。その中でも、滅多に見ることのできない七条袈裟や修多羅や、昔使っていたシャンドンリアなど、歴史を感じることでできるものばかりでした。また、佐井村の中にある寺の多さにも驚きました。昔、佐井村が賑やかで多くの人々が移り住んで来たため、寺が多くなつたとガイドさんから聞きました。佐井村を知るいい勉強になり、寺の重要性にも気づくことができました。私たちにとても貴重な経験になりました。



三上剛太郎先生とその生涯

まち歩きの最初、三上剛太郎先生の生家に寄ってきました。実際、三上剛太郎先生が患者を診察する場所として使っていた家が、改装はしたものの今でも残っているということに驚くと同時に三上剛太郎先生の偉大さを感じました。三上剛太郎先生は、日露戦争で日本軍の医師としてロシアに行つた際、手製の赤十字旗を作り、ロシア人を含む数十人の命を救いました。自軍の兵士だけではなく、自分の持っている赤十字の心に従い敵軍の兵士も助けた三上剛太郎先生はとても尊敬します。三上剛太郎先生からは、思いやりと他人に対する優しさを学ぶことができました。

まち歩きをしている中で触れ合った地域の方々の優しさも、三上剛太郎先生が残してくれた宝物ではないでしょうか。



感想

この三日間の職業体験で地域の方々と接したり、実際に佐井村を歩いてみたりして、佐井村の事を知らない私たちにとっては、全てが新しく新鮮な経験となりました。職業体験で経験したことや学んだことは、これから私たちがぶつかる職業選択や、いざ、社会人になって働く時に必ず役立つと思います。今回の経験を参考にこれからの生活に活かしていきたいと思います。

私たちに貴重な体験を与えていただいた佐井村役場のみなさん、優しく接して下さったみなさんには本当に感謝しています。ありがとうございました。機会があったら、また佐井村に遊びに行きたいです。

(浜辺滉希)

今回の職業体験は力仕事が多くありました。ダンボールの搬入や会議で使う冊子を作ったりしました。まち歩きは佐井村について知らない事が多いので見ることで全てが新鮮でした。法性寺には本物の七条袈裟があり、とても高価だそうです。その袈裟のレプリカがあるアルサスに行きました。アルサスには袈裟の他に出土した物や三上剛太郎先生の物などが展示されていました。そのアルサスで美術展に出す絵を台紙に貼りつけたりボードを組み立てたりしました。作業しつても作品を見れてとても楽しくて良かったです。

(濱端祥輝)